

外国人研修生・技能実習生34名の死亡内容概略 (2008年4月～2009年3月)

死亡日	性別	年齢	身分	国籍	事故の概況	入国後の期間
2008年4月	男	20代	実習生	中国	事業主にトラクターを運転することを告げずに当日の作業場である畑(借地で家より8km)に向かった。事業主宅と畑の間の道を探したところ、近くの堤防でトラクターが横転し、同実習生がトラクターの下敷きになって既に死亡していた。(労働災害)	25-26 ヶ月
2008年4月	女	40代	実習生	中国	午後7時40分頃、県道で、本人と他の企業の実習生と一緒に歩行中、軽ライトバンにはねられ、一人は全身を強く打って死亡し、同行していた実習生も肋骨骨折の重傷を負った。(交通事故)	25-26 ヶ月
2008年4月	男	30代	実習生	中国	午前6時半頃同室者が実習生を起こそうとしたところ様子がおかしく、顔面はすでに血の気がなかったため、直ちに救急車を呼んだ。病院へ搬送後死亡が確認された。急性心不全との診断である(心臓死)	16-17 ヶ月
2008年5月	男	30代	実習生	中国	午前7時、実習生が起きないので、同室の実習生が起きそうとしたところ死亡していた。急性心筋梗塞と推定されている。(心臓死)	26-27 ヶ月
2008年5月	男	20代	実習生	インドネシア	船員の友人の宿舎に遊びに行き、6人でビールを飲みながら話をした。自転車で寮へ戻る途中、午前0時30分頃交差点で車に追突され、約4m橋の下に転落し、頭を強打し即死状態であった。(交通事故)	32-33 ヶ月
2008年5月	男	20代	研修生	中国	午前7時20分出勤時間になっても上段の研修生が起きてこないため、その研修生の身体をゆすったところ、呼吸をしておらず、死亡していた。致死的不整脈との診断である(心臓死)。	8-9 ヶ月
2008年6月	男	20代	研修生	ベトナム	午前1時頃苦しんでいるので声をかけると、返事がなかったため会社担当者へ連絡した。病院へ搬送したが午前2時10分急性心臓死による死亡と診断された。(心臓死)	1-2 ヶ月
2008年6月	男	30代	実習生	中国	午前4時頃、同居の研修生3名が異変に気づき、救急車を呼び救急隊の救助を受けたが死亡した。心筋梗塞という結論が出された。(心臓死)	29-30 ヶ月
2008年7月	女	20代	実習生	中国	腹部の痛みを訴え、市内の病院へ通院中であったが、午前1時30分頃、寮の廊下で倒れているのを発見され、病院へ搬送されたが死亡した。(病死)	13-14 ヶ月
2008年7月	男	20代	実習生	中国	技能実習中に金属プレス機で左手小指、薬指を挟む怪我をし入院治療していたところ、早朝6時頃、心臓に起因する病気で死亡した。(心臓死)	25-26 ヶ月
2008年7月	男	20代	実習生	インドネシア	咳がひどいため、近くの医院へ行き、診断の結果、急性気管支炎と栄養失調と診断された。その後再度熱と咳がひどくなり結核性髄膜炎と診断され、危篤状態になり、死亡した。(病死)	15-16 ヶ月
2008年7月	男	20代	実習生	中国	研修中の同僚ら5人と海水浴に来て、午後2時頃、約100m沖合で姿が見えなくなった。翌々日早朝、釣りをしていた社員が遺体で発見した。(溺死)	15-16 ヶ月

2008年7月	男	30代	実習生	フィリピン	午前10時になっても起きてこないのを不審に思った同僚が意識を失っていた被災者を発見。直ちに救急車を手配したが、死亡が確認された。(肺水腫)	20-21ヵ月
2008年7月	男	20代	実習生	タイ	同僚と市内へ行き朝まで飲酒して、その後別の企業の宿舎を訪ね、午前11時過ぎに食事をともにした後、意識を失い、死亡(心臓死)。	24-25ヵ月
2008年7月	男	20代	研修生	ベトナム	午前6時頃、声をかけたが返事がなく、すでに身体が冷たくなっており、軽度の硬直も起こして死亡と診断された。(心臓死)	3-4ヵ月
2008年8月	男	20代	実習生	中国	土曜日の夜、同室の実習生が外泊し部屋には当人だけであった。翌日の午後5時近くになっても表れないので不審に思い、部屋に入ったところ既に死亡していた。虚血性心疾患との診断(心臓死)	17-18ヵ月
2008年8月	女	20代	実習生	中国	午後11時頃、近くに散策に行くと言って寮を出た。同日午後11時30分頃、漁港沖の海上に何かが浮いているのを見かけ、午前0時40分頃漁船を使って引き上げたが死亡が確認された。(溺死)	16-17ヵ月
2008年10月	男	20代	実習生	インドネシア	午前6時頃、操業中の漁船から海中に転落し行方不明となった。直ちに海上保安部、僚船、ヘリコプター、航空機などで捜索を行ったが発見に至らず、3日後捜索を打ち切った(労災)	34-35ヵ月
2008年10月	男	30代	研修生	中国	午後4時20分頃、被災者はイヤホンをして一人で線路を歩いていて列車に轢かれ死亡した。その時、既に踏切の警報が鳴っていた。(交通事故・自殺?)	3-4ヵ月
2008年11月	男	30代	実習生	フィリピン	整地作業の補助をしていた被災者が、勝手に整地用のハンドローラーを後ろ向きで操作していたところ、転んで穴に落ち、その上に自走していたハンドローラーが乗り、下敷きになって死亡(労災)	23-24ヵ月
2008年11月	男	20代	研修生	中国	集合研修期間中の朝、足の痺れ、頭痛を訴え、鎮痛剤を同僚に貰って飲んだ。その後、異変を感じて、市民病院へ搬送されたが死亡した。脳内出血との診断であった。(脳疾患)	1ヵ月
2008年12月	男	20代	実習生	中国	実習終了後、実習現場から帰る途中、乗っていた車が、交差点にて右折車と衝突、信号柱、ガードレールにぶつかり大破し、死亡(交通事故・労災)	18-19ヵ月
2008年12月	男	30代	実習生	中国	午後8時20分頃、市道を自転車で走行していたところ、脇見運転の自動車にはねられ死亡(交通事故)	23-24ヵ月
2009年1月	男	40代	研修生	インドネシア	1月1日午後1時頃、体調不良を訴えたため、病院へ搬送し、治療を開始したが、翌2日早朝容態が悪化し死亡した。死亡原因は、劇症型心筋炎(心臓死)	9-10ヵ月
2009年1月	男	20代	実習生	ベトナム	早朝、激しい頭痛を訴え、企業の担当者が救急車を要請したが救急車の到着前に意識を失い、心臓も停止していた。クモ膜下出血6日後死亡。(脳疾患)	33-34ヵ月
2009年1月	男	30代	研修生	中国	腹痛が消えないので検査をしたところ、十二指腸潰瘍を発見、さらにリンパガンの疑いと診断された。一時帰国させて治療させたが、現地の総合病院で肺ガンと診断され、約3週間後に死亡した。(ガン)	2-3ヵ月

2009年1月	男	20代	実習生	中国	休暇をとり、他の実習生と飲食後、一人で自転車で外出、その後車にひき逃げされて倒れているところを発見され、病院で死亡が確認された。 (交通事故)	34-35 ヶ月
2009年2月	男	20代	実習生	中国	朝、出勤してこないため、寮へ様子を見に行くと、就寝の状態に既に意識の確認が出来なかった。致死性不整脈。(心臓死)。	32-33 ヶ月
2009年2月	男	20代	実習生	中国	朝、当人が起きてこないで起こしに行ったところ、既に息をしておらず冷たくなっていた。病院へ搬送したが、1時間後に死亡が確認された。(肺炎)	13-14 ヶ月
2009年2月	女	30代	研修生	中国	夕食をとって、スーパーへ買い物に出かけ帰宅後、2～3分して吐き気を訴えたので病院へ搬送されてそのまま入院。翌日は1日安定、次の日の朝、病院のトイレで倒れ、死亡した。心筋梗塞。(心疾患)	3 ヶ月目
2009年2月	男	20代	実習生	中国	朝、会社でミーティング後、会社のトラック(3人乗り)に同乗して現場へ向かう途中、停車中のダンプカーに追突し、助手席左側に乗っていた当人が頭部を強打して死亡した。(交通事故、労災)	18-19 ヶ月
2009年2月	男	20代	研修生	ベトナム	深夜未明、就寝中に引きつけを起こしているのを同室の研修生に発見された。心肺停止状態となり、心臓マッサージ等を行いながら救急車で病院へ搬送されたが、病院で死亡が確認された。死亡原因は不明で、医師及び警察は脳か心臓に異常があったのではないかと推測している。	10-11 ヶ月
2009年3月	男	20代	実習生	中国	早朝、漏電により2階事務室より出火、3階が寄宿舎となっていたが、3階に寝ていた実習生等が火災に気付くのが遅れ、避難用縄ばしごで避難しようとしたが、地上に着く前に落下し、1名が頭部を強打して死亡、研修生・実習生8名が重軽傷 (寮火災事故・労災)	16-17 ヶ月
2009年3月	男	20代	研修生	モンゴル	4社のモンゴル人研修生・実習生9名が集まり、1社の社員寮で酒を飲み、そのまま寝た。翌日意識不明であることに気づき、救急車で搬送されたが病院で死亡が確認された。うっ血性心不全。(心臓死)	10-11 ヶ月